

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 三共生興株式会社

コード番号 8018

URL <http://www.sankyoseiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長C00 (氏名) 井ノ上 明

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 下川 浩一 (TEL) (06)6268-5188

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,293	△30.1	882	7.4	1,288	22.5	△17	—
2020年3月期第2四半期	11,862	△8.1	821	△6.9	1,051	△7.9	793	△10.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 44百万円(△86.0%) 2020年3月期第2四半期 321百万円(△80.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△0.41	—
2020年3月期第2四半期	18.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	46,028	34,001	73.0
2020年3月期	48,010	34,839	71.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 33,618百万円 2020年3月期 34,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	17,000	△27.2	1,300	1,254.2	1,900	241.7	650	△78.3	14.87	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	60,000,000株	2020年3月期	60,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	16,294,798株	2020年3月期	16,294,798株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	43,705,202株	2020年3月期2Q	43,864,459株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(追加情報)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動が大きく減速し、景気は大幅に悪化いたしました。また、個人消費に一部持ち直しの兆しがあるものの、景気回復ペースは緩やかにとどまり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましても、商業施設の一部休業や営業時間の短縮、外出自粛による消費低迷や購買志向の変化により、極めて厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中で、当社グループは、「DAKS」ブランドを核としたビジネスを、アジアを中心に海外展開を拡大することに注力し、また、今後の先行き不透明な状況に対応するために、強固な財務基盤や安定した収益体質の構築を目指す事業構造改革に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比30.1%減の8,293百万円となりましたが、営業利益は前年同期比7.4%増の882百万円、経常利益は前年同期比22.5%増の1,288百万円となりました。特別利益として投資有価証券売却益など855百万円計上し、特別損失として使用権資産等の減損損失や早期退職による特別退職金など2,119百万円計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は17百万円(前年同期は793百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ファッション関連事業

国内事業は、「DAKS」「LEONARD」のブランド価値向上のため、顧客ファースト、商品クオリティを追求し、経営効率を重視する販売戦略を推し進めております。当第2四半期連結累計期間におきましては、当該ブランドを百貨店などに販売する国内子会社では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言時の店舗休業や解除後の外出自粛などによる個人消費の落ち込みにより、大幅な減収となりました。

一方、「DAKS」「LEONARD」ブランドを中国・香港・マカオ・台北・韓国などのアジアを中心に展開しております海外事業は、当該感染症の影響は限定的でしたが、地政学的リスクなどの要因により前期末に香港の店舗を一部撤退したこともあり、減収となりました。

ファッション関連事業全体といたしましては、大幅な減収となりましたが、前期末より当連結会計年度における当該感染症の拡大に伴う消費低迷に対応するために、利益重視の収益体質の構築を目指し、固定経費の削減などを推し進めていた効果が大きく、増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比37.7%減の3,485百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比30.4%増の618百万円となりました。

② 繊維関連事業

アパレル企業向けのOEM事業は、依然として厳しい市況が続く受注競争が加速する中、販売面におきましては企画提案力の強化、付加価値の高い商品開発に注力し、また、生産面におきましては、更なる品質向上を目指し、商品の安定供給に努めることで、重点得意先との取組拡大を目指しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、取引先であるアパレル各社の仕入計画の見直しによる受注減などにより減収となりましたが、物流の効率化、経費の削減などの収益性の向上に努め、また、回収不安が見込まれた債権額の減少に伴い、引当金を一部取り崩したことにより、減収増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比24.7%減の4,142百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比18.5%増の226百万円となりました。

③ 不動産関連事業

大阪の賃貸ビルをメインとして東京・横浜・神戸などの不動産賃貸事業は、稼働率は安定的に推移しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、イベントホール事業において、一定期間の営業自粛を行ったことが大きく影響し、減収減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比14.0%減の1,064百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比18.2%減の287百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて184百万円(0.9%)増加し、20,269百万円となりました。これは、現金及び預金が479百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が276百万円減少したことなどによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて2,166百万円(7.8%)減少し、25,758百万円となりました。これは、使用権資産が1,826百万円減少、投資有価証券が415百万円減少したことなどによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて847百万円(10.8%)減少し、6,977百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が436百万円減少、未払金が323百万円減少したことなどによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて295百万円(5.5%)減少し、5,048百万円となりました。これは、リース債務が168百万円減少、退職給付に係る負債が150百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて838百万円(2.4%)減少し、34,001百万円となりました。これは、利益剰余金が891百万円減少したことなどによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて479百万円増加（前第2四半期連結累計期間は691百万円の減少）し、当第2四半期連結会計期間末には、14,874百万円（前第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は9,632百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上額が24百万円、減損損失が1,718百万円、減価償却費の計上額が467百万円となった一方で、投資有価証券売却益が604百万円、仕入債務の減少額が432百万円、法人税等の支払額が275百万円あったことなどにより、664百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は812百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入が966百万円あったことなどにより、905百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は37百万円の収入）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額が871百万円、リース債務の返済による支出が202百万円あったことなどにより、1,083百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は1,449百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的に算定することが困難であることから未定としておりました。

現在においても新型コロナウイルス感染症の影響は収束しておらず、依然として収束時期は見通せない状況にありますが、当第2四半期までの実績及び現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、業績予想を算定いたしましたので公表いたしました。

詳細につきましては、本日別途公表しました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,395	14,874
受取手形及び売掛金	3,606	3,330
商品及び製品	2,019	1,904
仕掛品	2	3
原材料及び貯蔵品	5	3
未収還付法人税等	36	20
その他	204	252
貸倒引当金	△184	△120
流動資産合計	20,085	20,269
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,541	7,354
土地	3,065	3,055
使用権資産(純額)	1,946	120
その他(純額)	150	125
有形固定資産合計	12,703	10,655
無形固定資産		
商標権	3,869	3,949
その他	135	101
無形固定資産合計	4,004	4,051
投資その他の資産		
投資有価証券	10,654	10,238
退職給付に係る資産	8	8
その他	573	844
貸倒引当金	△19	△39
投資その他の資産合計	11,217	11,051
固定資産合計	27,924	25,758
資産合計	48,010	46,028

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,376	1,940
短期借入金	2,820	2,820
リース債務	521	536
未払金	673	349
未払費用	881	726
未払法人税等	163	116
その他	388	488
流動負債合計	7,825	6,977
固定負債		
リース債務	1,578	1,409
繰延税金負債	2,284	2,317
退職給付に係る負債	505	355
長期預り金	840	838
その他	134	127
固定負債合計	5,344	5,048
負債合計	13,170	12,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,168	6,178
利益剰余金	29,354	28,462
自己株式	△5,984	△5,984
株主資本合計	32,538	31,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,460	4,433
繰延ヘッジ損益	7	0
為替換算調整勘定	△2,553	△2,470
退職給付に係る調整累計額	△5	△2
その他の包括利益累計額合計	1,908	1,961
非支配株主持分	392	383
純資産合計	34,839	34,001
負債純資産合計	48,010	46,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	11,862	8,293
売上原価	7,244	4,859
売上総利益	4,618	3,434
販売費及び一般管理費	3,796	2,552
営業利益	821	882
営業外収益		
受取利息	6	0
受取配当金	254	263
為替差益	0	6
その他	20	193
営業外収益合計	281	463
営業外費用		
支払利息	34	29
店舗等除却損	6	15
その他	9	12
営業外費用合計	51	57
経常利益	1,051	1,288
特別利益		
投資有価証券売却益	—	633
助成金収入	—	207
固定資産売却益	—	14
特別利益合計	—	855
特別損失		
減損損失	—	※1 1,718
臨時休業等による損失	—	※2 201
特別退職金	—	164
投資有価証券売却損	—	28
投資有価証券評価損	—	6
特別損失合計	—	2,119
税金等調整前四半期純利益	1,051	24
法人税、住民税及び事業税	259	295
法人税等調整額	△12	△263
法人税等合計	247	31
四半期純利益又は四半期純損失(△)	804	△7
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	10
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	793	△17

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	804	△7
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	△26
繰延ヘッジ損益	△2	△7
為替換算調整勘定	△501	83
退職給付に係る調整額	0	2
その他の包括利益合計	△483	52
四半期包括利益	321	44
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	310	34
非支配株主に係る四半期包括利益	10	10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,051	24
減価償却費	544	467
減損損失	—	1,718
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△44
受取利息及び受取配当金	△260	△264
支払利息	34	29
固定資産売却損益(△は益)	—	△14
売上債権の増減額(△は増加)	31	279
たな卸資産の増減額(△は増加)	△303	110
仕入債務の増減額(△は減少)	121	△432
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△604
役員賞与の支払額	△75	△56
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8	△147
未払消費税等の増減額(△は減少)	45	△48
その他	△310	△310
小計	868	705
利息及び配当金の受取額	260	264
利息の支払額	△35	△29
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△281	△275
営業活動によるキャッシュ・フロー	812	664
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△117	△75
有形固定資産の売却による収入	175	31
投資有価証券の取得による支出	△2	△1
投資有価証券の売却による収入	—	966
その他	△17	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	37	905
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△285	—
配当金の支払額	△883	△871
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
リース債務の返済による支出	△275	△202
その他	—	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,449	△1,083
現金及び現金同等物に係る換算差額	△91	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△691	479
現金及び現金同等物の期首残高	10,323	14,395
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,632	14,874

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

当第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社サンファーストは清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 減損損失

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

用途	種類	場所	減損損失 (百万円)
販売店舗及び事務所	建物及び構築物	横浜市西区他	2
	工具、器具及び備品	熊本県熊本市他	2
	長期前払費用	熊本県熊本市他	2
	使用権資産	ロンドン	1,711
計			1,718

当社グループは、事業別を基本とし、賃貸用資産及び遊休資産等については、それぞれの物件ごとにグルーピングを行っております。

上記資産グループにおきましては、閉鎖が決定または将来の使用見込みがないと判断し、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、回収可能価額は販売店舗及び事務所においては、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローに基づく使用価値が零またはマイナスであるため、回収可能価額を零として評価しております。

※2 臨時休業等による損失

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

新型コロナウイルス感染症拡大を受けた緊急事態宣言に伴う店舗等の休業期間中に発生した固定費(人件費・減価償却費等)を「臨時休業等による損失」として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,583	5,169	1,109	11,862	—	11,862
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	333	127	471	△471	—
計	5,594	5,502	1,237	12,334	△471	11,862
セグメント利益	474	190	351	1,016	△195	821

(注) 1. セグメント利益の調整額△195百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△195百万円及びセグメント間取引消去等0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,484	3,831	978	8,293	—	8,293
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	311	86	399	△399	—
計	3,485	4,142	1,064	8,693	△399	8,293
セグメント利益	618	226	287	1,132	△250	882

(注) 1. セグメント利益の調整額△250百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△272百万円及びセグメント間取引消去等22百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業		
減損損失	1,718	—	—	—	1,718